

韓国水産系高校と交流

10月28日（金）韓国水産系高校生、20名が来校しました。

韓国水産系（主に食品製造流通、養殖など）の高校生が日本の海洋・水産系の高校でどのような学習をしているのかを研修のため来校しました。

本校の校長より歓迎のあいさつを本校水産食品科1年生の生徒が通訳をし、研修生を歓迎しました。

その後、本校の4学科の教育内容を、教頭から説明をしました。その後、栽培漁業科と水産食品科の実習の一部を体験していただき、海洋漁業科、情報通信科の施設について見学と説明を受けました。

栽培漁業科では、エゾバフンウニの人工授精を体験しました。韓国では、人工授精の実習などがなかったため、真剣に取り組んでいました。

水産食品科では、缶詰の巻き締めを体験しました。缶には、チョコレートを詰めて巻き締めをし、チョコレート缶を製造しました。また、本校の2・3年生が実習で製造したさんまの缶詰を試食しました。

見学後、本校の生徒会の生徒と「綱引き」や「長縄飛び」で交流しました。交流の最後に、学校生活の様子、進路のことなどについて意見交換を行いました。

韓国の生徒一人一人から、たくさんのお土産を本校生徒会の生徒がいただき、生徒同士の交流も深まったことと思います。

最後に、本校の生徒会副会長よりあいさつをし、交流会が終了しました。



校長より歓迎のことばを本校の生徒が通訳している様子



学校説明を聞く、韓国の生徒の様子



ウニの人工授精を体験している様子



一緒に長縄飛びをしました



お互いの学校の様子について交流中



記念撮影